



平成 21 年 5 月 12 日

各 位

会社名 日本写真印刷株式会社
代表者名 代表取締役社長 兼 最高経営責任者 鈴木順也
(コード番号 7915 東証・大証各第1部)
問合せ先 取締役常務執行役員管理部門担当 高橋 勝
(TEL. 075-811-8111)

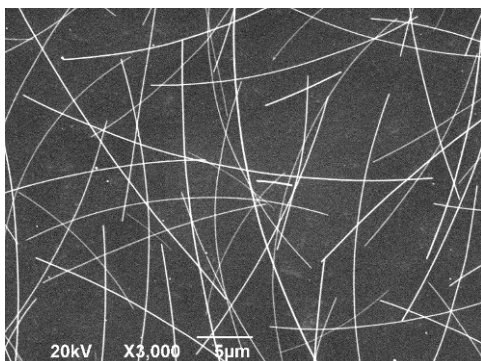
三次元形状への成形が可能な透明導電膜材料 (ClearOhm™ coating materials and coated films) に関する Cambrios Technology Corporation からの独占購入契約締結について

日本写真印刷株式会社 (以下、日本写真印刷) は、Cambrios Technology Corporation (以下、Cambrios) と共同開発した三次元成形が可能な透明導電膜材料 (ClearOhm™ coating materials and coated films) に関する独占購入契約を締結いたしましたので、お知らせします。

今回、独占購入契約を締結した透明導電膜材料は、タッチ入力デバイスの材料として使われているITO¹よりも優れた屈曲性があり、また、その代替材料として開発されている導電ポリマーやカーボンナノチューブなどに比べ透過率が高いという特性を持っています。

契約締結日	2009年4月24日
契約の概要	<ol style="list-style-type: none">1. 日本写真印刷は Cambrios と静電容量方式タッチパネル向けのインキ材料 (銀ナノワイヤー溶液) と導電フィルムの共同開発を排他的に進める。2. 日本写真印刷は Cambrios が当社と合意した品質の製品開発が完成した場合、独占購入の権利を取得する。3. 日本写真印刷は Cambrios への資本参加の権利を持つ。
開発材料の特徴	<ol style="list-style-type: none">1. ITO 膜より優れた屈曲性と成形性がある透明電極膜の形成が可能。2. ITO 代替材料として開発されている導電ポリマーやカーボンナノチューブなどに比べて、優れた電気特性 (低抵抗) と光学特性 (高透過) を持つ。3. ニュートラルな色調でディスプレイ色度の再現性が高い。4. コーティングにより製膜するため、低コスト化を図ることができる。
今後の展開	<ul style="list-style-type: none">・タッチ入力デバイスの採用が有力視される次期パソコン OS の市場投入にあわせ、パソコン向けタッチパネル事業に参入する。・三次元形状のタッチ入力デバイスの開発を進める。

¹ ITO: Indium Tin Oxideの略、酸化インジウムにスズを添加した化合物で導電性をもちながら高い透明度を持つ



銀ナノワイヤー (Cambrios 提供)

<参考>

1. Cambrios Technology Corporation の概要

- (1) 本社: 930 East Arques Ave. Sunnyvale, CA 94085, USA
- (2) 代表者: Michael R. Knapp, Ph.D., President and CEO
- (3) 事業内容: 透明導電材料の製造、販売 (ナノワイヤーインク)

2. 日本写真印刷株式会社の概要

- (1) 本社: 京都市中京区壬生花井町3
- (2) 代表者: 代表取締役社長 兼 最高経営責任者 鈴木 順也 (すずき じゅんや)
- (3) 資本金: 56 億 84 百万円
- (4) 連結売上高: 1,277 億 67 百万円 (2009 年 3 月期)

<今後の見通し>

本件に伴う、平成 22 年 3 月期の当社連結・個別業績予想に与える影響については、現時点での変更はございません。

【この件に関するお問合せ先】

コーポレートコミュニケーション本部広報部：谷口哲也、齋藤明洋

Tel : 075 823 5139 Fax : 075 823 5344

E-mail : t-taniguchi@nissha.co.jp a-saitou@nissha.co.jp

URL : www.nissha.co.jp